年間授業計画　新様式

高等学校 令和５年度（1学年用）教科　　芸術　　科目 音楽Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：音楽Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　1 組～　7 組

使用教科芸術『ON！１』（音楽之友社）

教科　芸術　　の目標：芸術活動を通して、生活や社会の中にある芸術作品や概念に興味・関心をもち、芸術の伝統と文化に関わる資質・能力の向上と、生徒の自発的創造力を育成する。

【知識及び技能】芸術の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、効果的に表現するため技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】芸術文化と伝統の意味や価値を考え、芸術作品のよさや美しさを感受し、自らの構想や表現を工夫することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に幅広い芸術活動に取り組み、芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目　音楽Ⅰ　　の目標：音楽の諸活動を通して、生活や社会の中にある音楽作品や概念に興味・関心をもち、音楽芸術の伝統と文化に関わる資質・能力の向上と、生徒の自発的創造力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	リズム（リーディングとアンサンブル） 【知識及び技能】リズム譜を把握し、スコアリーディングの拍とリズムの縦の要素を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】リズムの組み合わせを判断し、適確な表現力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】リズムアンサンブルを通じて、他者との調整力や自発的表現力を身に付ける。	・指導事項 リズムに関するスコアリーディング法とリズムアンサンブルの表現方法 ・教材 教科書、五線紙 ・一人１台端末の活用　等 作品例の鑑賞		○	○	○	【知識及び技能】リズムを把握し、拍とリズムの縦の要素を的確に理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】リズムの組み合わせを判断し、適確な表現力が身に付いているか。 【学びに向かう力、人間性等】リズム創作やアンサンブルを通じた、他者との調整力や自発的表現力が身に付いているか。	○	○	○	14
	ミュージカル 【知識及び技能】物語の内容や時代背景と楽曲の特徴を把握し、舞台作品としての表現方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】使用されている楽曲の特徴や美しさをとらえて、どのような表現意図を持っているかを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】それぞれの物語のシーンや楽曲に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞活動に取り組む姿勢を養う。	・指導事項 作品の物語の内容や時代背景、登場人物の心情の理解と音楽の用いられ方の技法 旋律やリズム、曲想に応じた表現技法 ・教材 教科書、五線紙、視聴覚教材 ・一人１台端末の活用　等 作品鑑賞	○	○		○	【知識及び技能】物語の内容や時代背景と楽曲の特徴を把握し、舞台作品としての表現方法を理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】楽曲の特徴や美しさをとらえて、表現意図を的確に理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】それぞれの物語の特徴や作品の時代背景に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞活動に取り組んでいるか。	○	○	○	14
2学期	和音の基本機能とコードネーム 【知識及び技能】和音の基本機能を把握し、コードネームの使い方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】全ての調性においてコードネームに基づく和音を作れるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】和音（コード）の種類の違いによる響きを感受でき、それらについて関心がもてるようにする。	・指導事項 和音の基本機能（TSD）の理論と、コードネームの使用方法 ・教材 教科書、五線紙 ・一人１台端末の活用　等 作品例の鑑賞			○	○	【知識及び技能】和音の基本機能を把握し、コードネームの使い方を理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】全ての調性においてコードネームに基づく和音の構成音がわかるか。 【学びに向かう力、人間性等】和音（コード）の種類の違いによる響きを聴き分け感受し、和音に関心をもてるか。	○	○	○	14
	オペラ・バレエ音楽 【知識及び技能】物語の内容や時代背景と楽曲の特徴を把握し、舞台作品としての表現方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】使用されている楽曲の特徴や美しさをとらえて、どのような表現意図を持っているかを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】それぞれの物語のシーンや楽曲に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞活動に取り組む姿勢を養う。	・指導事項 作品の物語の内容や時代背景、登場人物の心情の理解と音楽の用いられ方の技法 旋律やリズム、曲想に応じた表現技法 ・教材 教科書、五線紙、視聴覚教材 ・一人１台端末の活用　等 作品鑑賞	○	○		○	【知識及び技能】物語の内容や時代背景と楽曲の特徴を把握し、舞台作品としての表現方法を理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】楽曲の特徴や美しさをとらえて、表現意図を的確に理解しているか。 【学びに向かう力、人間性等】それぞれの物語の特徴や作品の時代背景に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞活動に取り組んでいるか。	○	○	○	12
3学期	五音音階(ﾍﾟﾝﾀﾄﾆｯｸ)による単旋律創作(作曲) 【知識及び技能】五音音階を理解し、２部形式や３部形式の作曲様式を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】３部形式を用いた単旋律を自らの判断と発想で適性に創作表現する。 【学びに向かう力、人間性等】単旋律のテクスチュアのあり方において創意工夫を生かした表現ができるようにする。	・指導事項 五音音階や２部・３部形式の基本的な理論とそれらに沿った創作表現技法 ・教材 教科書、五線紙 ・一人１台端末の活用　等 作品例の鑑賞		○	○	○	【知識及び技能】五音音階や２部形式や３部形式の作曲様式を理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】３部形式を用いた単旋律を自らの判断と発想で適性に創作表現できているか。 【学びに向かう力、人間性等】単旋律のテクスチュアのあり方において創意工夫を生かした表現ができているか。	○	○	○	16
											合計 70